



# 雪崩・地すべり 研究センターたより

季刊・第58号  
2011. 9月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・平成23年新潟・福島豪雨災害現地調査 ・トピックス ・土木研究所資料第4201号、第4204号の発刊  
・ニュートンのリンゴの木

## 平成23年7月新潟・福島豪雨災害現地調査



①



②



③



④

- ①新潟県柏崎市東長鳥地区 地すべり
- ②新潟県長岡市栃尾大野地区 地すべり
- ③新潟県柏崎市高柳町石黒地区 地すべり
- ④新潟県長岡市栃尾大野地区 崩壊

7月26～30日にかけて、新潟県並びに福島県会津地方で集中豪雨による災害が発生しました。雪崩・地すべり研究センターでは、8月2日に野呂所長、丸山、伊東、池田、中村が新潟県の被災地における現地調査を実施しました。この調査では、柏崎市、長岡市、魚沼市、南魚沼市の斜面災害調査を中心に実施しています。この調査報告の速報は、当センターのホームページに掲載されています。  
(URL:<http://www.pwri.go.jp/team/niigata/top.html>)



## トピックス

### ■雪崩・地すべり研究推進協議会 妙高地区治水砂防協会 合同研究発表会

この研究発表会は、7月19日に新潟県妙高市役所で開催されました。研究発表は、妙高砂防事務所からは「平成23年5月に発生した鳥屋地区地すべり災害について」、センターからは、丸山が「長野県北部を震源とする地震による斜面災害」、伊東が「雪崩予防柵をすり抜ける雪崩の対処法とその効果」と題して発表しました。



### ■JICA 研修生来訪

8月24日に、JICA 火山学・総合土砂災害対策（砂防）研修生7名が、研修のため当センターを訪れました。今回の研修生は、エルサルバドル、インドネシア、マレーシア、パキスタン、フィリピン、ネパール、ベネズエラの7カ国の主に行政機関の技術者です。研修では、丸山総括主任研究員が地すべり防止工事に関する講義を行いました。また、その後の演習では道路拡幅工事中に地すべりが発生した事例を紹介し、研修生にその地すべりの発生機構、地すべり対策に用いる工法とその配置について検討、発表、議論をしていただきました。



### ■学会研究発表会

8月31日に静岡市で日本地すべり学会研究発表会、9月19～23日に新潟県長岡市で日本雪氷学会研究大会が、それぞれ開催されました。当センターからは、表1に示す研究発表を行いました。



表1 研究発表一覧表

学会名	タイトル	発表者
地すべり学会	地すべり土塊粘性土の地震波載荷試験	丸山清輝
	平成23年3月12日 長野県・新潟県県境付近の地震により発生した地すべりの状況と分布の特徴	中村 明
	活断層周辺における既存地すべり地形の危険度評価	ハスパートル
雪氷学会	降雨に伴う積雪の強度変化	伊東 靖彦
	スラブ(雪崩層)の強度を考慮した積雪安定度の検討	池田慎二
	2011年4月29日に白馬大雪渓で発生した雪崩	池田慎二

### ■国際会議

第4回雪崩に関する国際学会が、9月5～9日にロシア連邦ムルマンスク州キロフスクで開催されました。当センターからは、池田が「SNOW PACK PROPERTIES FOR SNOW AVALANCHING IN THE CENTRAL MOUNTAIN AREA, JAPAN」を発表しました。



### ■防災力向上シンポジウム

9月11日に、新潟県妙高市で妙高地域における防災力向上シンポジウムが（社）新井青年会議所の主催により開催されました。当センターではパネルを出展し、当センターの研究概要や雪崩と地すべりの基礎知識などについて紹介しました。



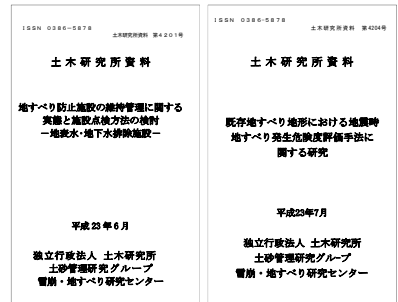
### ■地すべり学会新潟支部現地検討会

9月22日に、新潟県妙高市において「平成23年度融雪期に発生した地すべり災害」と題して、花立地すべり現地検討会が開催されました。当センターの丸山が座長を務め、融雪地すべりについて意見交換を行いました。



### 土木研究所資料第4201号、第4204号の発刊

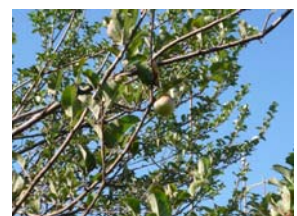
第4201号は、地すべり防止施設の機能、地表水・地下水排除施設の維持管理に関する実態、集水管の機能低下及び機能維持方策の実態、地表水・地下水排除施設点検法、施設の具体的な点検法などについて示したものです。また、第4204号は、新潟県中越地震、岩手・宮城内陸地震などの激甚な逆断層型地震により発生した地すべりの分布及び地形的な特徴を抽出し、地すべり地帯の既存地すべり地形における地震時地すべり発生危険度評価手法について示したものです。




なお、本資料は、当センターのホームページ(URL:<http://www.pwri.go.jp/team/niigata/top.htm>)でダウンロードできます。

### ニュートンのリンゴの木

写真は、9月25日の状況です。今冬の雪により枝が数本折れる被害が出ました。このため、リンゴは数個しか付いていませんが、大きさは直径5cm位になっています。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載してありますので、ご覧下さい。

発行：独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所  
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター   
住所：〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8  
TEL:0255-72-4131 FAX:0255-72-9629 URL:<http://www.pwri.go.jp>  
掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。